

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスわか		公表日		2025年 3月 5日	
	チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	66.70%	33.30%			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	66.70%	33.30%		10人利用に対し、スタッフ4人から5人の配置です。新スタッフ等のスキルアップの勉強会等企画しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	50%	50%		足が器用でない子にとって、玄関の靴を脱ぎ履きするところが使いにくいように思います。なにか補助の手すりなり、椅子なりが置けたらやりやすい子が出てくるかもしれません。	・椅子を置いて、必要な子がすぐに使えるように整えます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	83.30%	16.70%			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	16.70%	50%	33.30%	集中するための方法として、ついたてを使っています。それでも十分に効果があると感じています。さらに更衣室に空きスペース作業的な物を作って、クールダウン部屋あるいは音に敏感な子にとって距離を置けるスペースになればいいなと思います。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	33.30%	50%	16.70%	・パートの方々が勤務時に支援計画を見る、振り返りを見ることは出来ているが、社員と支援目標を再確認し合える機会は持っていない。 ・運転手及び添乗員に職員が出ることが多く、ほとんど振り返りができていないのが最近の現状です。職員だけでも振り返りができる状況、声掛けをする必要があると感じています。	・支援目標の共有は必須ですので、確認しやすい形を検討します。 ・振り返りの活用方法には、まだ改善の余地があるので、引き続き効果的な運用を考えたいと思います。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		100%			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	50%	50%			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100%			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	83.30%	16.70%		もう少し研修の数を増やしてもいいと感じています。また資質・支援技術の向上のために、定期のスタッフミーティングだけではなく、わか独自の研修も支援の質を上げていくためには必要だと思います。	・子どもたちへの視点はもちろん、支援員として幅広い知見を持つために、外部機関との意見交換の場には積極的に参加します。 ・研修報告の時間も活用しながら、学びの機会を増やします。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	83.30%	16.70%		現状できることは、しっかりと考えてプログラム作成されていますが、さらに改善・向上の余地があると思います。体系化したプログラムの計画・実施・分析ができるように、ベースづくりをしていきたいと思っています。	・子どもたちの積み上げを見える化していくことは必要と考えています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%			パートの方が勤務開始時に個別支援計画を見る時間を設けている。	理解を深めるための意見交換の場も作ってほしい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	50%	50%		振り返りにて子どもの様子をグループウェアを使ってスタッフ間で確認する時間を設けている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	83.30%	16.70%			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	83.30%	16.70%			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%				
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	83.30%	16.70%				
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%					

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	50%	50%		・今年度下半期においては振り返りが出来ていない日が増えてきている。 ・運転・添乗などで送迎に出ることが多く、戻ってから、連絡ノートなどの記入・スタッフの対応があると、打合せ・振り返りができないことが増えている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%				
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	50%	50%			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせず支援を行っているか。	66.70%	33.30%		自立支援と日常生活の充実のための活動・創作活動・余暇活動の提供については、日ごろの支援で実施できていますが、地域社会との交流については難しく、交流方法を模索しているところです。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	83.30%	16.70%			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	33.30%	66.70%			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	50%	50%			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%				
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		100%		当事業所通所前に通われていた施設との連携については、あまり出来ていません。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	16.70%	83.30%			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		100%			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	16.70%	66.70%	16.70%	他放課後等デイサービスとの合同プログラムでは、新しいお友だちもでき、人間関係を広げる良い機会になっています。その他の選択肢として、児童館との交流は、有効な活動だと思わずし、今後検討の余地があると思います。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	16.70%	83.30%			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	83.30%	16.70%			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	16.70%	66.70%	16.70%	・今年度は行ってない様子である。 ・家族支援については、今後注力していく分野であると考えています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	33.30%	66.70%			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	66.70%	33.30%			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	83.30%	16.70%			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	83.30%	16.70%			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	16.70%	83.30%		保護者会を行う機会は作ったものの、参加率が芳しくないため、方法を変える必要があります。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	66.70%	33%			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%				
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%				
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	83.30%	16.70%			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%			
非	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	83.30%	16.70%		どのマニュアルがあるか把握しておりません。	・必要なマニュアルはすべて整備されていますが、順次周知していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	66.70%	33.30%		行っているが足りていない取り組みもある	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	83.30%	16.70%		服薬・てんかんについては、気をつけていますが、予防接種については確認をしていませんでした。	

常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	83.30%	16.70%		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	50%	50%		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	40%	60%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	66.70%	33.30%		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	16.70%	83.30%		